

茨城県央地域定住自立圏共生  
ビジョンの取組状況及び評価  
(2017 年度)



「茨城県央地域定住自立圏共生ビジョン」の取組事業の評価について（2017年度分）

1 評価方法

事業ごとのKPIの実績値と現状値の差を、目標値と現状値の差で割り、100 を乗じたものを達成率としてパーセントで表し、その達成率を以下のとおり、A～Cの3段階の達成度に区分し評価しました。

$$\text{達成率} = \frac{\text{(実績値-現状値)}}{\text{(目標値-現状値)}} \times 100$$

達成度	説明
A	達成率 20%以上のもの【順調】
B	達成率 5%～20%未満のもの【概ね順調】
C	達成率 5%未満のもの【要改善】

\*計画期間の5年間（2017年度～2021年度）で目標値を達成するための1年目の目安として20%（1年目/5年目）以上をA評価とした。

1年ごとにA評価の基準が20%ずつ上がることを想定している。

2 評価結果の概要

政策分野	事業数	KPI数	達成度評価		
			A：順調	B：概ね順調	C：要改善
1 生活機能強化	19	25	7	7	4
① 医療分野	6	7	2	4	—
② 福祉分野	6	6	3	1	—
③ 産業振興分野	3	6	2	1	2
④ 環境分野	2	2	—	1	—
⑤ 教育分野	2	4	—	—	2
2 結びつきやネットワークの強化	2	2	2	—	—
① 地域公共交通分野	2	2	2	—	—
3 圏域マネジメント能力の強化	1	2	—	—	1
① 人材育成分野	1	2	—	—	1
合計	22	29	9	7	5

※2018年度以降に実施する事業については、実績値が出ていないため評価をしていません。

## 【医療分野】

### 基本目標

指標	現状値 (2014 年末)	実績値 (2016 年末)	目標値 (2020 年末)
圏域の医療施設従事医師数	1,314 人	1,357 人	1,370 人
圏域の看護師・准看護師数	7,712 人	7,735 人	8,310 人

### 事業No. 1

事業名	診療所情報共有・啓発事業			
2017 年度 決算額	2,328,165 円			
2017 年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急医療の現状及び適正受診の啓発のためのガイドブック（394,000 部）を作成し、圏域内の全世帯へ配布した。また、転入者への配布も実施した。</li> <li>各構成市町村のホームページに、医療の現状、救急受診の啓発に関する情報を掲載した。</li> <li>救急医療における適正受診の啓発記事を各構成市町村の 11 月広報紙へ掲載した。</li> <li>茨城県立健康プラザで、小児医療をテーマに健康セミナーを開催した。順天堂大学講師による講演及び順天堂大学講師、水戸市長、小児科医等によるパネルディスカッションを実施した。</li> </ul>			
重要業績評価指標（K P I）				
指標	現状値 (2016 年度)	実績値 (2017 年度)	目標値 (2021 年度)	達成率 (%)
健康セミナー参加者数	0 人	87 人	延べ 750 人	11.6
達成度評価	評価に対する考え方及び 2018 年度以降の取組方針			
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康セミナーの参加者について、目標値を下回っているが、小児医療をテーマに開催した内容については、参加者から好評を得たところである。今年度については、より参加者のニーズに応えられるよう、会場や定員について検討し、実施する。</li> </ul>			

事業No. 2

事業名	診療所運営支援事業			
2017年度 決算額	26,539,470円（各市町負担分）			
2017年度 事業実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>定住自立圏構成市町村のうち休日夜間診療所を持たない那珂市、茨城町、大洗町及び城里町から費用の一部負担を受け、水戸市が休日夜間緊急診療所を運営した。</li> <li>診療所の運営にかかる経費から診療報酬等を控除した額26,539,470円のうち、那珂市が1,162,000円、茨城町が2,120,000円、大洗町が547,000円、城里町が650,000円、水戸市が残りを負担した。</li> </ul>				
休日診療受診者数（診療時間9:00～12:00, 13:00～15:30）				
	市内	市外	計	一日平均
内科	2,130人	659人	2,789人	38人
小児科	2,627人	1,141人	3,768人	52人
外科	529人	202人	731人	10人
歯科	270人	188人	458人	6人
合計	5,556人	2,190人	7,746人	106人
日数	73日			
（日曜祝日、8月13日～8月15日及び年末年始を含む）				
夜間診療受診者数（診療時間19:30～22:30）				
	市内	市外	計	一日平均
内科	2,516人	915人	3,431人	9人
小児科	3,199人	1,686人	4,885人	13人
合計	5,715人	2,601人	8,316人	23人
日数	365日			
重要業績評価指標（KPI）				
指標	現状値 （2016年度）	実績値 （2017年度）	目標値 （2021年度）	達成率 （%）
水戸市休日夜間緊急診療所の体制の維持	開設日数：365日 （夜間、休日昼間含む）	開設日数：365日 （夜間、休日昼間含む）	開設日数：365日 （夜間、休日昼間含む）	100.0
達成度評価	評価に対する考え方及び2018年度以降の取組方針			
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>定住自立圏構成市町村により運営費の一部負担を受けて、安定した運営ができています。今年度以降については、運営費の一部負担を継続する。</li> </ul>			

### 事業No. 3

事業名	産婦人科医確保事業																																																														
2017年度 決算額	19,420,000円																																																														
2017年度 事業実績																																																															
<ul style="list-style-type: none"> <li>安定的な医師確保に苦慮している水戸赤十字病院に対して、周産期及び婦人科医の確保のための経費について、財政支援を実施した。</li> </ul>																																																															
<p>&lt;圏域市町村別産婦人科患者受入状況&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外来</th> <th colspan="2">入院</th> </tr> <tr> <th>患者数</th> <th>構成比</th> <th>患者数</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水戸市</td> <td>1,862人</td> <td>45.9%</td> <td>344人</td> <td>43.6%</td> </tr> <tr> <td>笠間市</td> <td>126人</td> <td>3.1%</td> <td>19人</td> <td>2.4%</td> </tr> <tr> <td>ひたちなか市</td> <td>996人</td> <td>24.6%</td> <td>222人</td> <td>28.2%</td> </tr> <tr> <td>那珂市</td> <td>387人</td> <td>9.5%</td> <td>68人</td> <td>8.6%</td> </tr> <tr> <td>小美玉市</td> <td>45人</td> <td>1.1%</td> <td>7人</td> <td>0.9%</td> </tr> <tr> <td>茨城町</td> <td>151人</td> <td>3.7%</td> <td>33人</td> <td>4.2%</td> </tr> <tr> <td>大洗町</td> <td>153人</td> <td>3.8%</td> <td>34人</td> <td>4.3%</td> </tr> <tr> <td>城里町</td> <td>104人</td> <td>2.6%</td> <td>21人</td> <td>2.7%</td> </tr> <tr> <td>東海村</td> <td>233人</td> <td>5.7%</td> <td>40人</td> <td>5.1%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,057人</td> <td>100.0%</td> <td>788人</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>						外来		入院		患者数	構成比	患者数	構成比	水戸市	1,862人	45.9%	344人	43.6%	笠間市	126人	3.1%	19人	2.4%	ひたちなか市	996人	24.6%	222人	28.2%	那珂市	387人	9.5%	68人	8.6%	小美玉市	45人	1.1%	7人	0.9%	茨城町	151人	3.7%	33人	4.2%	大洗町	153人	3.8%	34人	4.3%	城里町	104人	2.6%	21人	2.7%	東海村	233人	5.7%	40人	5.1%	合計	4,057人	100.0%	788人	100.0%
	外来		入院																																																												
	患者数	構成比	患者数	構成比																																																											
水戸市	1,862人	45.9%	344人	43.6%																																																											
笠間市	126人	3.1%	19人	2.4%																																																											
ひたちなか市	996人	24.6%	222人	28.2%																																																											
那珂市	387人	9.5%	68人	8.6%																																																											
小美玉市	45人	1.1%	7人	0.9%																																																											
茨城町	151人	3.7%	33人	4.2%																																																											
大洗町	153人	3.8%	34人	4.3%																																																											
城里町	104人	2.6%	21人	2.7%																																																											
東海村	233人	5.7%	40人	5.1%																																																											
合計	4,057人	100.0%	788人	100.0%																																																											
重要業績評価指標 (KPI)																																																															
指標	現状値 (2016年度)	実績値 (2017年度)	目標値 (2021年度)	達成率 (%)																																																											
水戸赤十字病院の 産婦人科医数	8人	8人	8人	100.0																																																											
達成度評価	評価に対する考え方及び2018年度以降の取組方針																																																														
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>財政的支援により、安定した医師確保ができています。今年度以降についても、財政的支援を継続する。</li> </ul>																																																														

事業No. 4

事業名	小児科医確保対策事業			
2017年度 決算額	—			
2017年度 事業実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>小児科医確保にかかる対策を実施する上で、圏域内の小児科医の現状を把握するため、小児科を標榜する医療機関への調査の実施について検討した。</li> </ul>				
重要業績評価指標（K P I）				
指標	現状値 (2016年度)	実績値 (2017年度)	目標値 (2021年度)	達成率 (%)
小児科医の確保数	0人	—	1人	—
達成度評価	評価に対する考え方及び2018年度以降の取組方針			
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>小児科を標榜する医療機関を対象に調査を実施し、現状把握及び課題整理をする。その上で、小児科医確保策について、構成市町村で協議を行う。</li> </ul>			

事業No.5

事業名	看護師等確保事業			
2017年度 決算額	123,629円			
2017年度 事業実績				
<p>・ 潜在看護師の復職を目的とした病院見学のバスツアーを実施した。</p> <p>開催期日：2017年8月30日（水）          参加者：7人          内容：茨城県看護協会へ委託し、水戸済生会総合病院及び水戸市医師会訪問看護ステーションみとを見学し、働く現状についての話やカムバックセミナー出身者との意見交換などを行った。</p>				
重要業績評価指標（KPI）				
指標	現状値 (2016年度)	実績値 (2017年度)	目標値 (2021年度)	達成率 (%)
①病院見学ツアー参加者数	0人	7人	延べ100人	7.0
②復職看護師数	0人	4人	延べ45人	8.9
達成度評価	評価に対する考え方及び2018年度以降の取組方針			
①B	<p>・参加者、復職者数ともに目標を下回っており、周知方法について検討が必要である。今年度は、広報紙への掲載とチラシの配布を実施する。</p> <p>・医療機関のほか、介護老人保健施設の見学も実施する。</p>			
②B				



事業No. 6

事業名	小中学生病院体験ツアー事業			
2017年度 決算額	1,000円			
2017年度 事業実績				
<p>・ 小中学生（小学5年生～中学3年生）を対象に，病院体験ツアーを実施した。水戸赤十字病院の協力により，病院内の設備などの見学や，救命救急，縫合体験などを実施した。</p> <p>開催期日：2017年7月29日（土）          会 場：水戸赤十字病院          参加者：県央地域内の小中学生28人          テーマ：「病院がどんなことをやっているのかを知ろう」</p>				
重要業績評価指標（KPI）				
指標	現状値 (2016年度)	実績値 (2017年度)	目標値 (2021年度)	達成率 (%)
病院体験ツアー参加者数	0人	28人	延べ150人	18.7
達成度評価	評価に対する考え方及び2018年度以降の取組方針			
B	<p>・参加者数については，当日の欠席が2名あり目標を下回ったが，応募者数は46名であり，定員（30名）を超えていた。</p> <p>・参加者，応募者が水戸市に集中している。今年度については，市町村ごとに定員を設け，広報についても市町村ごとに実施し，他市町村からの参加者・応募者の増加を図る。</p>			

【福祉分野】

基本目標

指標	現状値 (2016年度)	実績値 (2017年度)	目標値 (2021年度)
圏域内法人の後見受任件数	8件	23件	45件

事業No. 7

事業名	成年後見制度の普及啓発			
2017年度 決算額	660,000円			
2017年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の普及啓発用のパンフレット（6,000部）、リーフレット（6,000枚）を作成し、連携市町（水戸市・笠間市・那珂市・小美玉市・茨城町・大洗町・城里町）の福祉関係窓口や住民向け学習会で配布した。</li> <li>・クリアファイル（6,000枚）、エンディングノート（3,000部）を作成し、学習会・相談会で配布した。</li> <li>・4市町（笠間市、那珂市、小美玉市、城里町）において成年後見制度に関する住民向けの学習会を開催した。</li> </ul>			
重要業績評価指標（KPI）				
指標	現状値 (2016年度)	実績値 (2017年度)	目標値 (2021年度)	達成率 (%)
住民向け学習会の参加者数	0人	延べ605人	延べ300人	201.7
達成度評価	評価に対する考え方及び2018年度以降の取組方針			
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習会を通じて圏域の住民に広く周知をすることができた。</li> <li>・今後も地域にあった学習会の在り方を協議しながら普及啓発を進めていく。</li> </ul>			

### 事業No. 8

事業名	成年後見制度の利用支援			
2017年度 決算額	120,000円			
2017年度 事業実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の利用の際の手続きの仕方や書類の書き方など水戸市社会福祉協議会権利擁護サポートセンターにおいて電話・来訪などにより相談を受け付けた。</li> <li>・制度の利用につなげるため、専門職団体と連携し、無料の相談会を開催した。</li> </ul>				
重要業績評価指標（KPI）				
指標	現状値 (2016年度)	実績値 (2017年度)	目標値 (2021年度)	達成率 (%)
権利擁護・成年後見制度に係る相談件数	0人	延べ421件	180件	233.9
達成度評価	評価に対する考え方及び2018年度以降の取組方針			
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度に関する相談先が市町村窓口以外にもあるということも多く相談を受けることができた。さらに権利擁護サポートセンターの存在を周知して多くの住民の相談に応じていく。</li> </ul>			

### 事業No. 9

事業名	市民後見人の養成及び活動支援			
2017年度 決算額	—			
2017年度 事業実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年度から実施する市民後見人養成講座及び活動支援体制についての計画を策定した。</li> </ul>				
重要業績評価指標（KPI）				
指標	現状値 (2016年度)	実績値 (2017年度)	目標値 (2021年度)	達成率 (%)
養成講座修了生の後見等業務活動件数	0件	—	12件	—
達成度評価	評価に対する考え方及び2018年度以降の取組方針			
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民後見人養成講座は、圏域内では初めてであり、9市町村全体で取り組む事業なので、構成市町村で協議しながら進めていく。</li> </ul>			

### 事業No. 10

事業名	成年後見制度法人後見支援			
2017年度 決算額	—			
2017年度 事業実績				
・各市町村社会福祉協議会を対象とした養成研修についての計画を策定した。				
重要業績評価指標 (KPI)				
指標	現状値 (2016年度)	実績値 (2017年度)	目標値 (2021年度)	達成率 (%)
法人後見実施団体数	3団体	—	6団体	—
達成度評価	評価に対する考え方及び2018年度以降の取組方針			
—	・法人後見を実施している団体，法人後見を今後計画中の団体，特に地域の社会福祉協議会などには積極的に研修に参加してもらい，法人後見人の増を目指す。			

### 事業No. 11

事業名	法人後見の受任			
2017年度 決算額	120,000円			
2017年度 事業実績				
・圏域内において，首長申し立てにより後見を開始する案件について，成年後見を受任した。				
重要業績評価指標 (KPI)				
指標	現状値 (2016年度)	実績値 (2017年度)	目標値 (2021年度)	達成率 (%)
法人後見受任件数	3件	7件	30件	14.8
達成度評価	評価に対する考え方及び2018年度以降の取組方針			
B	・地域における成年後見制度への関心は高まってきているが，目標を下回っている。今後も，普及啓発などを図り，理解を進めていくことにより，法人後見の受任につなげていく。			

事業No. 1 2

事業名	県央地域成年後見支援事業の運営支援			
2017年度 決算額	22,227,000 円			
2017年度 事業実績				
<p>・ 県央地域成年後見支援事業を実施する水戸市社会福祉協議会に対し、運営経費について支援することにより、安定的な事業の推進を図った。</p> <p>人件費（専従職員3名分） 21,193,106 円</p> <p>事業費（講座チラシ印刷，研修通知送付経費等） 815,982 円</p> <p>事務費（委員会開催経費，事業参考書籍購入等） 217,912 円</p>				
重要業績評価指標（K P I）				
指標	現状値 (2016年度)	実績値 (2017年度)	目標値 (2021年度)	達成率 (%)
水戸市社会福祉協議会で県央地域成年後見支援事業に従事する職員の数	0人	3人	3人	100.0
達成度評価	評価に対する考え方及び2018年度以降の取組方針			
A	<p>・ 学習会や法人後見の受任等の定住自立圏成年後見支援事業を安定的に行うことができた。市民後見人養成講座や法人後見の受任など対応事務量の増にも対応していく。</p>			

## 【産業振興分野】

### 基本目標

指標	現状値 (2015年)	実績値 (2016年)	目標値 (2021年)
圏域全体の観光交流人口	19,202,700人	19,195,000人	22,145,000人

### 事業No.13

事業名	県央地域内の観光マーケティング調査			
2017年度 決算額	2,970,000円			
2017年度 事業実績				
<p>県央地域に訪れる観光客が、どのような年代層で、どのようなエリアから、どれくらいの時間を費やすかなどについて、実態を把握する観光客動態調査を実施した。</p> <p>&lt;調査期間&gt; 2017年3月1日(水)～5月31日(水)(県央地域の観光入込客数が多い時期)</p> <p>&lt;調査人数&gt; 17,000人(日帰り11,954人,宿泊5,046人)</p> <p>&lt;調査方法&gt; auスマートフォンユーザーの位置情報及び性別年齢層情報を取得</p> <p>&lt;調査項目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発地分析…どこからどのような人がどれくらい来訪したかを分析</li> <li>・宿泊地分析…どのような人がどこに宿泊したかを分析</li> <li>・滞在時間分析…どのような人がどの程度の期間滞在したのかを分析</li> <li>・周遊エリア数, ルート分析…どのような人がどのように周遊したのかを分析</li> </ul> <p>&lt;主な結果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北関東からの来訪者が全体の50.3%,首都圏からの来訪者が39.2%であった。</li> <li>・都道府県順では,茨城県(39.2%),東京都(12.6%),千葉県(10.6%)であった。</li> <li>・県央地域内の平均周遊箇所数は,1.18箇所であった。</li> </ul>				
重要業績評価指標(KPI)				
指標	現状値 (2016年度)	実績値 (2017年度)	目標値 (2021年度)	達成率 (%)
観光マーケティング調査の実施回数	0回	1回	3回	33.3
達成度評価	評価に対する考え方及び2018年度以降の取組方針			
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年度に実施する調査では,調査対象を県央地域のエリア全体から各市町村や観光スポット単位と細分化に設定し,内容をよりきめ細かく,深化させるものとする。</li> <li>・訪日外国人の増加を踏まえ,外国人観光客を対象とした調査もあわせて実施する。これら調査の結果を踏まえ,観光誘客促進施策に取り組む。</li> </ul>			

事業No. 1 4

事業名	県央地域魅力発信事業			
2017年度 決算額	6,550,549円			
2017年度 事業実績				
<p>県央の魅力を県内外に発信するため、観光キャンペーンをはじめ、土産品イベントの開催、ガイドブックの多言語化など、観光PR事業を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光キャンペーンを茨城マルシェ（2017年7月20日（木））及び茨城空港（2018年3月29日（木））で実施した。</li> <li>・広域観光ガイドブックの多言語版（英語・簡体字・繁体字・韓国語）を各3,000部作成した。</li> <li>・9市町村の手土産品を評価する「いばらき県央おいしい手土産 品評会」（2017年12月11日（月））及び販売促進を図る「いばらき県央特選お土産 特売会」（2018年3月1日（木）～7日（水））を実施した。</li> </ul>				
重要業績評価指標（KPI）				
指標	現状値 (2015年度)	実績値 (2017年度)	目標値 (2021年度)	達成率 (%)
①土産品イベントの出品数	0品 (2016年度)	18品	延べ100品	18.0
②いばらき県央地域観光協議会ホームページのページビュー数	51,999 ページビュー	24,746 ページビュー	100,000 ページビュー	△56.8
③外国人観光客向けキャンペーンの実施	0回	1回	4回	25.0
達成度評価	評価に対する考え方及び2018年度以降の取組方針			
①B	<p>・土産品イベントについては、土産品イベントを通して、物産のPR、販路拡大を行うとともに、県央地域の認知度及びブランド力の向上につなげていく。</p> <p>・協議会ホームページについては、2018年度、ホームページをより発信力のある構成に刷新し、ページビュー数を増やす取組を行っていく。</p>			
②C				
③A				

事業No. 15

事業名	周遊型観光の推進事業			
2017年度 決算額	12,738,320円			
2017年度 事業実績				
<p>○ 周遊イベントとして、自転車で「水戸八景」を巡る、「第2回水戸八景グルメライド」を開催した。</p> <p>○ 県央地域を周遊するツアーの造成、販売の実現に向け、観光資源の発掘及びモニターツアーの催行等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークショップの開催…自治体職員等による観光資源の洗い出し、その資源を活用するツアー行程の考案を行った。(全5回)</li> <li>・ モニターツアーの実施…ワークショップの検討内容を踏まえ、日帰りツアー2本を1泊2日で実施した。(2018年3月22日(木), 23日(金))</li> <li>・ 体験メニューの開発促進…県央地域内の事業者に着地型商品開発に関する説明会を実施し、新規体験メニューの創出を図った。</li> </ul>				
重要業績評価指標 (KPI)				
指標	現状値 (2016年度)	実績値 (2017年度)	目標値 (2021年度)	達成率 (%)
①周遊イベント(水戸八景グルメライドを想定)の県外参加者率	36% (2015年度)	32%	45%	△44.4
②周遊ツアーの造成	0本	—	8本	—
達成度評価	評価に対する考え方及び2018年度以降の取組方針			
①C	<p>・2018年度については、検討、調整内容を踏まえ、各地域資源を連結させた県央地域ならではの周遊ツアーの造成及び販売を行っていく。</p>			
②—				



【環境分野】

基本目標

指標	現状値 (調査時点)	実績値	目標値 (達成年度)
取組を実施する住民1人当たりの電力使用による二酸化炭素排出量	58.5 kg-CO <sub>2</sub> (2015年11月)	60.5 kg-CO <sub>2</sub> (2017年11月)	8%削減 (2021年11月)
	74.2 kg-CO <sub>2</sub> (2014年12月)	70.7 kg-CO <sub>2</sub> (2016年12月)	8%削減 (2020年12月)

事業No. 16

事業名	エコライフチャレンジ			
2017年度 決算額	669,254円			
2017年度 事業実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員と小学生のみの参加であったものを、2017年度からは、より参加者を増やすため、水戸市のみ実施してきた一般の参加者枠を全市町村に拡大し、参加者募集を行うこととした。</li> <li>・一部の自治体（2市）で参加賞の配布を実施していたが、統一して全市町村で参加賞を配布することとした。</li> <li>・削減率の高かった参加者には、工夫した点について情報を収集するため、アンケートを実施した。</li> </ul>				
重要業績評価指標（KPI）				
指標	現状値 (2016年度)	実績値 (2017年度)	目標値 (2021年度)	達成率 (%)
エコライフチャレンジ参加者数	1,317人	1,395人	2,000人	11.4
達成度評価	評価に対する考え方及び2018年度以降の取組方針			
B	・広く参加者へ周知を行い、参加者の増加に努める。			

事業No. 17

事業名	環境啓発イベントへの相互参加			
2017年度 決算額	—			
2017年度 事業実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境啓発効果を高めるためのイベント相互参加に向けての検討を行った。</li> <li>・イベントだけではなく、環境学習会や市民団体の環境活動などの小規模な活動について、情報収集を行った。</li> </ul>				
重要業績評価指標（KPI）				
指標	現状値 (2016年度)	実績値 (2017年度)	目標値 (2021年度)	達成率 (%)
環境啓発イベントの開催回数	4回	—	6回	—
達成度評価	評価に対する考え方及び2018年度以降の取組方針			
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境活動についての情報紙を作成し、広く周知を図ることにより、相互参加につなげる。今後は、情報紙のテーマを変更するなどして、新たな情報紙の作成を検討する。</li> </ul>			

## 【教育分野】

### 基本目標

指標	現状値 (2015 年度)	実績値 (2016 年度)	目標値 (2021 年度)
圏域内住民の広域利用者総数	263,766 人	248,722 人	270,000 人

### 事業No. 18

事業名	公の施設の広域利用に係るPR事業			
2017 年度 決算額	435,078 円			
2017 年度 事業実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>いばらき県央地域ガイドホームページの内容を、随時、最新のものに更新した。</li> <li>県央地域首長懇話会担当部署課長会議で、キャンペーンの開催方法を検討し、2018 年度から 9 市町村の対象施設において、利用促進に向けたPR事業として、スタンプラリーを実施することとした。</li> <li>2018 年度からの実施に向けた準備として、スタンプラリーカード兼用のリーフレット(8,000 部)等を作成した。</li> </ul>				
重要業績評価指標 (KPI)				
指標	現状値 (2016 年度)	実績値 (2017 年度)	目標値 (2021 年度)	達成率 (%)
①いばらき県央地域ガイドホームページのページビュー数	309,554 ページビュー	187,779 ページビュー	360,000 ページビュー	△241.4
②利用促進キャンペーン参加者数	0 人	—	延べ6,000 人	—
達成度評価	評価に対する考え方及び2018年度以降の取組方針			
①C	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページの閲覧数が大幅に減少していることから、その要因を分析するとともに、対応策を検討する。</li> </ul>			
②—	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンペーンについては、今年度スタンプラリーを実施し、公の施設の広域利用のPRとともに、利用の促進を図っていく。</li> </ul>			

事業No. 19

事業名	公の施設の広域利用に係る利便性向上事業			
2017年度 決算額	252,110 円			
2017年度 事業実績				
<p>・ 公の施設の広域利用制度についての住民の意見を収集し、制度の利便性向上を図り、利用促進につなげるため、アンケート調査を実施した。</p> <p>(1) 期間 2017年12月～2018年1月31日</p> <p>(2) 対象</p> <p>① 9市町村の住民(10歳～75歳)から無作為抽出した1,984人に、アンケート用紙を郵送して協力を依頼した。</p> <p>② 9市町村の公の施設の広域利用対象施設(スポーツ施設、会館、図書館など)の利用者に、アンケート用紙を配布して協力を依頼した。</p> <p>(3) 回収</p> <p>① 郵送によるもの 707件(回収率:35.6%)</p> <p>② 施設配布によるもの 1,159件</p> <p>合計標本数 1,866件</p>				
重要業績評価指標(KPI)				
指標	現状値 (2016年度)	実績値 (2017年度)	目標値 (2021年度)	達成率 (%)
①広域利用対象施設数	78施設	75施設	80施設	△150.0
②利便性に満足している住民の割合	68% (2017年度)	—	80%	—
達成度評価	評価に対する考え方及び2018年度以降の取組方針			
①C	・アンケート調査の結果を踏まえ、施設の利便性向上及び対象施設拡充に向けた検討を行う。			
②—				

【地域公共交通分野】

基本目標

指標	現状値 (2015 年度)	実績値 (2016 年度)	目標値 (2021 年度)
中心市の路線バスの1日当たりの利用者数	29,830 人	30,724 人	32,800 人

事業No. 20

事業名	公共交通の維持・確保																													
2017 年度 決算額	18,695,463 円																													
2017 年度 事業実績																														
<p>・ 先行事業の実施（城里町）</p> <p>路線バス石塚・赤塚線の運行（2017 年 4 月 1 日から 1 日 8 便 4 往復運行） （単位：人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>4 月</th> <th>5 月</th> <th>6 月</th> <th>7 月</th> <th>8 月</th> <th>9 月</th> <th>10 月</th> <th>11 月</th> <th>12 月</th> <th>1 月</th> <th>2 月</th> <th>3 月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>753</td> <td>780</td> <td>830</td> <td>934</td> <td>792</td> <td>987</td> <td>967</td> <td>897</td> <td>841</td> <td>794</td> <td>710</td> <td>716</td> <td>10,001</td> </tr> </tbody> </table>					4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	753	780	830	934	792	987	967	897	841	794	710	716	10,001
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計																		
753	780	830	934	792	987	967	897	841	794	710	716	10,001																		
<p>・ 事業の需要調査（笠間市）</p> <p>笠間市と水戸市の境界周辺地域において、住民の移動需要を把握するためのアンケート調査を実施するとともに、当該アンケート調査の結果を踏まえ、当該地域に最適な新しい地域公共交通の形態及びその運行に係る実施計画についての検討を行った。</p> <p>アンケート配布総数：3,035 票 有効回数票数：891 票（回収率 29.4%）</p>																														
重要業績評価指標（KPI）																														
指標	現状値 (2015 年度)	実績値 (2016 年度)	目標値 (2021 年度)	達成率 (%)																										
水戸市と近隣市町村を結ぶ路線バスの1日当たりの利用者数	8,657 人	9,167 人	9,100 人	115.1																										
達成度評価	評価に対する考え方及び 2018 年度以降の取組方針																													
A	<p>・引き続き、城里町と協力して、路線バス「石塚・赤塚線」運行を支援する。</p> <p>・沿線住民を対象とした「路線バスの乗り方教室」の実施、沿線施設利用者への積極的な広報など、路線バス「石塚・赤塚線」の利用促進に取り組む。</p>																													

事業No. 2 1

事業名	公共交通の利用促進																																				
2017年度 決算額	89,370 円																																				
2017年度 事業実績																																					
<p>&lt;第1回目実績(2017年6月1日～6月7日)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象職員：7,608人</li> <li>ノーマイカーウィーク実施者数：2,449人(取組率：32.2%)</li> </ul> <p>&lt;第2回目実績(2017年10月1日～10月7日)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象職員：7,352人</li> <li>ノーマイカーウィーク実施者数：2,263人(取組率：30.8%)</li> </ul> <p>【内訳】 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>水戸市</th> <th>笠間市</th> <th>ひたちなか市</th> <th>那珂市</th> <th>小美玉市</th> <th>茨城町</th> <th>大洗町</th> <th>城里町</th> <th>東海村</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>1,225</td> <td>157</td> <td>269</td> <td>223</td> <td>154</td> <td>142</td> <td>134</td> <td>14</td> <td>131</td> <td>2,449</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>1,203</td> <td>138</td> <td>233</td> <td>169</td> <td>129</td> <td>124</td> <td>158</td> <td>11</td> <td>98</td> <td>2,263</td> </tr> </tbody> </table> <p>・事業所の参加促進に向けては、周知用のチラシ・ポスターを事業所に持参し、直接参加の依頼を行った。</p>						水戸市	笠間市	ひたちなか市	那珂市	小美玉市	茨城町	大洗町	城里町	東海村	合計	第1回	1,225	157	269	223	154	142	134	14	131	2,449	第2回	1,203	138	233	169	129	124	158	11	98	2,263
	水戸市	笠間市	ひたちなか市	那珂市	小美玉市	茨城町	大洗町	城里町	東海村	合計																											
第1回	1,225	157	269	223	154	142	134	14	131	2,449																											
第2回	1,203	138	233	169	129	124	158	11	98	2,263																											
重要業績評価指標 (K P I)																																					
指標	現状値 (2016年度)	実績値 (2017年度)	目標値 (2021年度)	達成率 (%)																																	
ノーマイカーウィークに参加した事業所数	97事業所	118事業所	200事業所	20.4																																	
達成度評価	評価に対する考え方及び2018年度以降の取組方針																																				
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年度以降も、定住自立圏共生ビジョンに基づく9市町村の共同事業として、定例的に、ノーマイカーウィークを実施する。</li> <li>・より多くの方に参加していただけるような実施方法等を検討する。</li> </ul>																																				

【人材育成分野】

基本目標

指標	現状値 (2015 年度)	実績値 (2017 年度)	目標値 (2021 年度)
圏域内市町村の合同研究及び他市町村が開催する研究に参加する職員数	0 人	2 人	延べ 270 人

事業No. 2 2

事業名	職員の能力向上に向けた研修会の合同開催及び相互参加			
2017 年度 決算額	—			
2017 年度 事業実績	<p>・研修会の相互参加について、実施方法等を決定するため担当者会議を開催し協議を行った。その後、相互参加の受入れ可能な研修を選定し構成市町村に参加募集を行ったところ、水戸市開催の研修に 2 名の参加があった。</p> <p>・合同研修について、研修科目等を決定するため担当者会議を開催し協議を行った結果、2018 年度に水戸市において開催することを決定した。</p>			
重要業績評価指標 (K P I)				
指標	現状値 (2016 年度)	実績値 (2017 年度)	目標値 (2021 年度)	達成率 (%)
① 合同研修開催回数	0 回	—	延べ 6 回	—
② 研修相互参加人数	0 人	2 人	延べ 90 人	2.2
達成度評価	評価に対する考え方及び 2018 年度以降の取組方針			
① —	・2018 年度は、合同研修を 2 回（計 60 名参加）実施し、33 年度までに延べ 6 回実施する。			
② C	・2018 年度は 20 名以上の相互参加を推進し、33 年度までに延べ 90 名の相互参加を目指す。			